

川崎町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

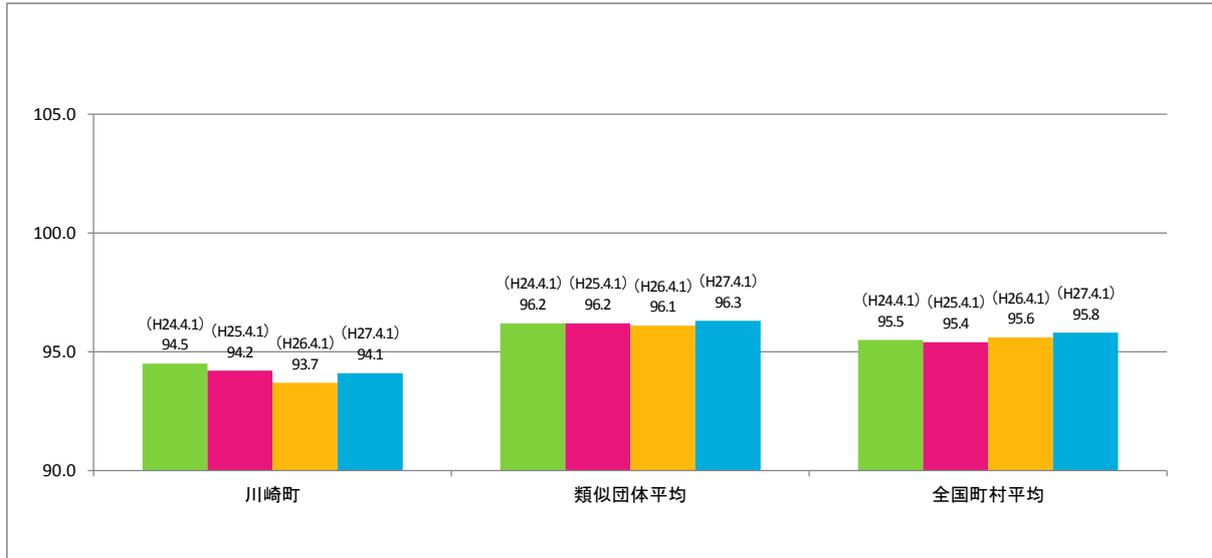
区分	住民基本台帳人口 (平成 27 年 1 月 1 日)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人 件 費 率 B/A	(参考) 25 年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
26 年度	18,258	8,736,626	686,258	1,824,172	20.9	18.6

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
26 年度	205	766,305	74,937	290,855	1,132,097	5,522	5,587

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成 26 年 4 月 1 日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年 4 月 1 日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を 100 として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 平成 24 年及び平成 25 年は、国家公務員の時限的な（2 年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 平成 26 年 4 月 1 日のラスパイレス指数が、①3 年前に比べて 1 ポイント以上上昇している場合、②3 年連続で上昇している場合、③100 を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】 国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

実施 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期） 平成27年4月1日
（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均1.8%引下げ。3級以上の級の高位号給は最大4%引下げ。5級及び6級に号給を増設。激変緩和のため、5年間（平成32年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。
他の給料表（医療職（一）を除く。）については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合） 町からの支給なし

③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。（平成27年4月1日実施）

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額 () 内減額前	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
川崎町	43.4 歳	313,064 円	347,434 円	331,378 円
福岡県	43.2 歳	333,500 円	415,114 円	369,373 円
国	43.5 歳	334,283 円	— 円	408,996 円
類似団体	42.1 歳	313,189 円	367,674 円	339,563 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額 () 内減額前	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
川崎町	54.8 歳	14 人	362,937 円	385,002 円	379,744 円	—	—	—	—
うち自動車運転手	53.8 歳	5 人	362,224 円	390,624 円	397,265 円	—	—	—	—
その他	54.9 歳	8 人	363,870 円	377,308 円	372,783 円	—	—	—	—
福岡県	54.5 歳	689 人	332,900 円	382,540 円	359,362 円	—	—	—	—
国	50.2 歳	2,994 人	289,141 円	— 円	328,318 円	—	—	—	—
類似団体	49.3 歳	10 人	288,149 円	310,714 円	299,358 円	—	—	—	—

③教育職

区 分	平均年齢	平均給料月額 () 内減額前	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
川崎町	46.1 歳	313,519 円	331,914 円	323,519 円
福岡県	44.8 歳	373,200 円	423,095 円	— 円
類似団体	39.9 歳	293,467 円	316,475 円	— 円

(2) 職員の初任給の状況 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

区 分		川崎町	福岡県	国
一般行政職	大 学 卒	174,200 円	180,800 円	174,200 円
	高 校 卒	142,100 円	146,500 円	142,100 円
技能労務職	高 校 卒	142,100 円	— 円	— 円
	中 学 卒	142,100 円	— 円	— 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

区 分		経験年数 10 年以上 15 年未満	経験年数 15 年以上 20 年未満	経験年数 20 年以上 25 年未満
一般行政職	大 学 卒	230,800 円	323,500 円	349,740 円
	高 校 卒	216,050 円	307,700 円	334,446 円
技能労務職	高 校 卒	— 円	— 円	— 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円

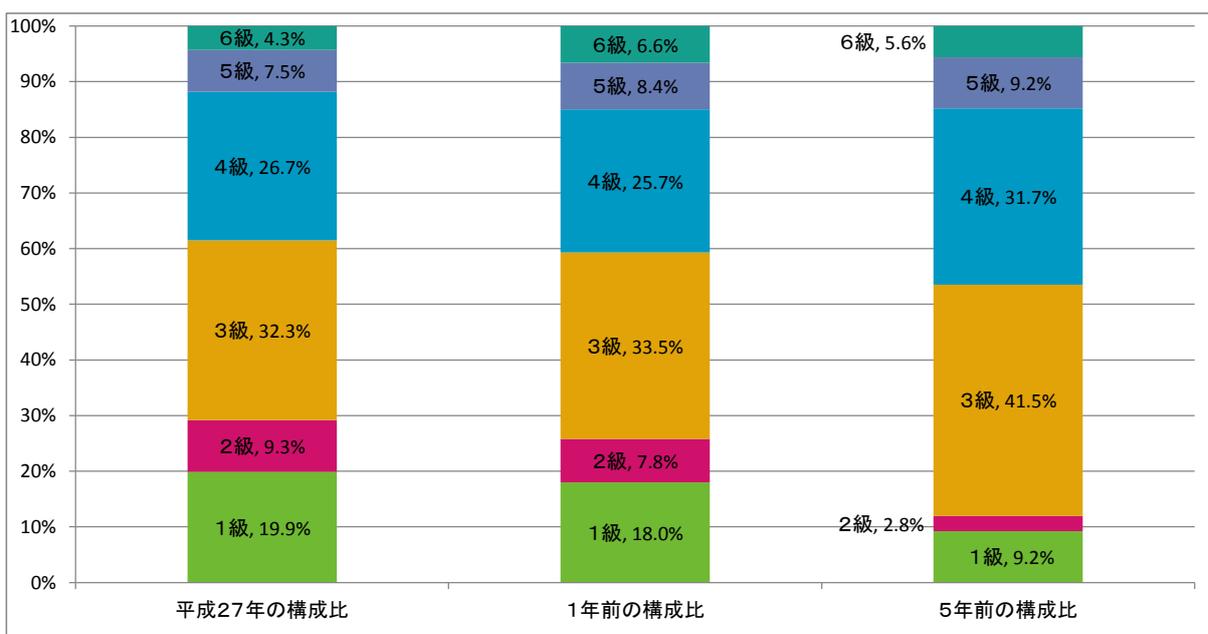
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況 (平成27年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	主事	32 人	19.9 %
2 級	主事	15 人	9.3 %
3 級	主任主事・主査	52 人	32.3 %
4 級	係長・課長補佐	43 人	26.7 %
5 級	課長	12 人	7.5 %
6 級	課長	7 人	4.3 %

(注) 1 川崎町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

人事評価制度導入に向けて検討中

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

川崎町	福岡県	国
1人当たり平均支給額 (26年度) 1,371 千円	1人当たり平均支給額 (26年度) 1,568 千円	—
(26年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.50月分 (1.45月分) (0.70月分)	(26年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.50月分 (1.45月分) (0.70月分)	(26年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.50月分 (1.45月分) (0.70月分)
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況（一般行政職）

<p>評定期間を2回（12月～5月・6月～11月）に分け、6月・12月各々の勤務実績について評価を行い勤勉手当に反映させている。</p>
--

(2) 退職手当（平成 27 年 4 月 1 日現在）

川崎町	国
(支給率) 自己都合 20.445 月分 勤続20年 20.445 月分 勤続25年 29.145 月分 勤続35年 41.325 月分 最高限度額 49.59 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置2~20%加算 1人当たり平均支給額 20,796 千円	(支給率) 自己都合 20.445 月分 勤続20年 20.445 月分 勤続25年 29.145 月分 勤続35年 41.325 月分 最高限度額 49.59 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置2~20%加算

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、26年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（平成 27 年 4 月 1 日現在）

支給実績 (26年度決算)	0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額 (26年度決算)	0 円		
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度 (支給率)
福岡市	0 %	0 人	0 %
地域手当補正後ラスパイレス指数 (ラスパイレス指数)	—		

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)

(4) 特殊勤務手当（平成 27 年 4 月 1 日現在）

支給実績 (26年度決算)	0 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額 (26年度決算)	0 円			
職員全体に占める手当支給職員の割合 (26年度)	0.0 %			
手当の種類 (手当数)	2			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績	左記職員に対する支給単価
防疫等作業に従事する職員の特殊勤務手当	伝染病防疫作業に従事する職員	伝染病等防疫作業業務	千円	1回につき400円
災害応急作業に従事する職員の特殊勤務手当	災害応急作業に従事する職員	災害応急作業業務	千円	出勤1,300円/1H 待機1,000円/1H

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (26年度決算)	18,269 千円
職員1人当たり平均支給年額 (26年度決算)	92 千円
支給実績 (25年度決算)	21,929 千円
職員1人当たり平均支給年額 (25年度決算)	106 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(25年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の職員総数(管理職員、教育職員制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (平成27年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (26年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (26年度決算)
扶養手当	配偶者13,000円 配偶者以外6,500円 (職員に配偶者がいない場合そのうち1人につき11,000円) 15歳~22歳の子については5,000円加算	同		24,782 千円	120,887 円
住居手当	借家・借間 最高27,000円 自宅 2,500円	異	住宅を新築・購入してから5年間2,500円支給	10,992 千円	53,619 円
通勤手当	普通交通機関等利用者 全額支給 自動車等使用者 2,000円~24,500円(但し、徒歩で片道2km以上であること)	同		9,660 千円	47,121 円
管理職手当	課長補佐 5,000円 5級 37,400円 6級 39,270円	異	手当率 8%~25%	10,961 千円	438,440 円
宿日直手当	日直手当 1回 4,200円 常直手当 1回 7,200円 特殊日直 1回 500円	異	1回につき500円~7,200円	273 千円	1,331 円
管理職特別勤務手当	管理監督職にある者 休日等の勤務1回につき8,000円	同		0 千円	0 円

5 特別職の報酬等の状況 (平成27年4月1日現在)

区分]		(参考) 類似団体における最高/最低額	
給料	町 長	705,000 円	() 円	854,000 円	399,000 円
	副町長	572,000 円	() 円	700,000 円	409,200 円
報酬	議 長	298,500 円	() 円	420,000 円	230,000 円
	副議 長	264,300 円	() 円	360,000 円	180,000 円
	議 員	245,000 円	() 円	345,000 円	157,000 円
期末手当	町 長	(26年度支給割合) 2.60 月分			
	副町長	加算措置 20%			
退職手当	議 長	(26年度支給割合) 3.1 月分			
	副議 長	加算措置 25%			
退職手当	町 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)	
	副町長	給料月額×在職年数×5.1	14,382,000 円	任期满后毎	
	備考	給料月額×在職年数×3.0	6,864,000 円	任期满后毎	

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)務めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

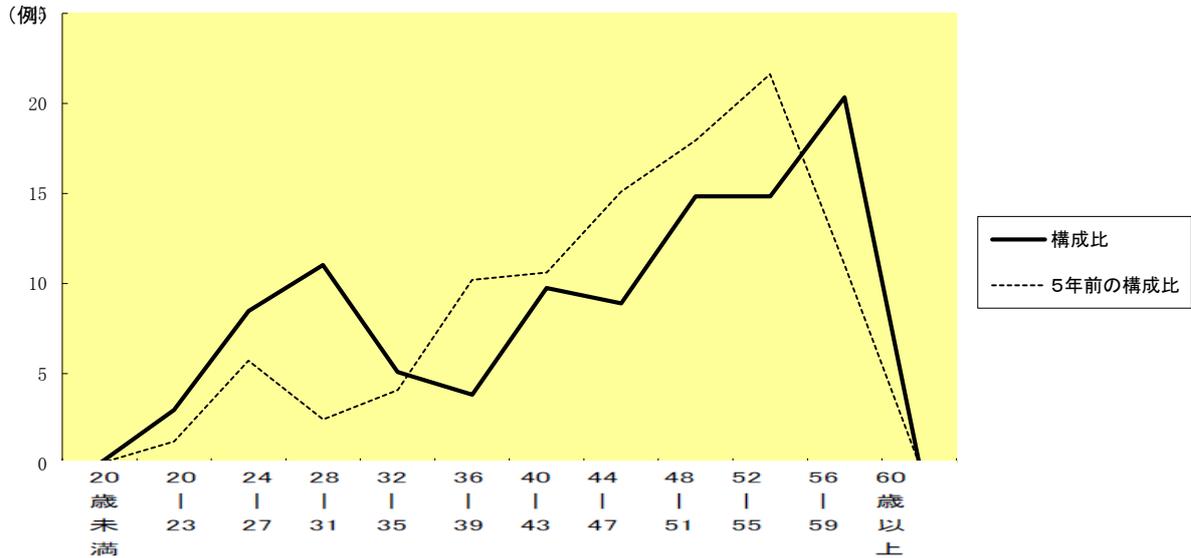
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数				対前年 増減数	主な増減理由
		平成 26 年	平成 27 年	平成 26 年	平成 27 年		
普通会計 部門	一般行政部門	議会	4 人	4 人	-		
		総務	47 人	44 人	△ 3	機構見直しによる減	
		税務	16 人	16 人	0	業務見直しによる減	
		労働	1 人	1 人	-		
		農水	6 人	6 人	0	業務増による増	
		商工	7 人	7 人	0	事業の縮減による減	
		土木	29 人	28 人	△ 1	事業の縮減による減	
		民生	48 人	48 人	0	業務増による増	
	衛生	16 人	13 人	△ 3	事業凍結による減		
	小計	174 人	167 人	△ 7	<参考> 人口1万人当たり職員数 91.5 人		
教育部門	32 人	31 人	△ 1				
小 計	206 人	198 人	△ 8	<参考> 人口1万人当たり職員数 108 人			
公営企業会計部門	水道	6 人	5 人	-	派遣職員増による増		
	その他	32 人	33 人	1	派遣職員減による減		
	小 計	38 人	38 人	0			
合 計		244 人	236 人	-	<参考> 人口1万人当たり職員数 129 人		
		[256]	[256]	-			

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (平成 27 年 4 月 1 日現在)



※ 上記職員数は教育長を含まない。

(3) 職員数の推移

(単位：%・人)

区 分		22年	23年	24年	25年	26年	27年	過去5年間の 増減数(率)	
部 門	一般行政	職員数	151	156	155	165	174	167	10.6%
		増 減		5	△ 1	10	9	△ 7	16
教 育	職員数	40	37	38	42	32	31	-22.5%	
		増 減		△ 3	1	4	△ 10	△ 1	△ 9
普 通 会 計	職員数	191	193	193	207	206	198	3.7%	
		増 減		2	0	14	△ 1	△ 8	7
公 営 企 業	職員数	55	37	40	37	38	38	-30.9%	
		増 減		△ 18	3	△ 3	1	0	△ 17
等 会 計	職員数	246	230	233	244	244	236	-4.1%	
		増 減		△ 16	3	11	0	△ 8	△ 10

(注) 1 各年における定数管理調査において報告した部門別職員数

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A 千円	純損益又は 実質収支 千円	職員給与費 B 千円	総費用に占める 職員給与費比率 B/A %	(参考) 25年度の総費用に占 める職員給与費比率 %
26年度	362,956	13,160	40,247	11.1	10.9

区分	職員数 A 人	給与費 B 千円				一人当たり 給与費 B/A 千円	(参考)市町村平均 一人当たり給与費 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 千円		
26年度	6	25,327	5,159	9,761	40,247	6,708	6,123

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数である。

イ 特記事項

(給与減額の状況)

国の減額等を踏まえた減額措置の取組 実施	減額実施期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日
減額措置の内容	
(給料)	
川崎町一般職の職員等の給与の特例に関する条例により平成21年4月1日から平成24年3月31日まで給料を3%減額	
川崎町一般職の職員等の給与の特例に関する条例により平成24年4月1日から平成25年3月31日まで給料を2%減額	
川崎町一般職の職員等の給与の特例に関する条例により平成25年4月1日から平成26年3月31日まで給料を1%減額	
(手当)	
川崎町一般職員の管理職手当の額に関する規定により平成22年9月1日から管理職手当を15%減額	

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況 (平成27年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
川崎町水道事業	45.7 歳	371,980 円	492,677 円
川崎町一般行政職	43.4 歳	322,831 円	456,525 円

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

川崎町水道事業		川崎町一般行政職	
1人当たり平均支給額 (26年度)	1,627 千円	1人当たり平均支給額 (26年度)	1,371 千円
(26年度支給割合)		(26年度支給割合)	
期末手当 2.60 月分 ()月分	勤勉手当 1.5 月分 ()月分	期末手当 2.60 月分 ()月分	勤勉手当 1.5 月分 ()月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～10%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～10%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当 (平成27年4月1日現在)

川崎町水道事業			川崎町一般行政職		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置2～20%加算			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置2～20%加算		
1人当たり平均支給額	0 千円		1人当たり平均支給額	20,796 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、26年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

支給実績 (26 年度決算)		0 千円	
支給職員 1 人当たり平均支給年額 (26 年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度 (支給率)
川崎町	0 %	0 人	0 %

エ 特殊勤務手当 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

支給実績 (26 年度決算)		0 千円	
支給職員 1 人当たり平均支給年額 (26 年度決算)		0 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (26 年度)		0.0 %	
手当の種類 (手当数)		2	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価

オ 時間外勤務手当

支給実績 (26 年度決算)	934 千円
職員 1 人当たり平均支給年額 (26 年度決算)	156 千円
支給実績 (25 年度決算)	704 千円
職員 1 人当たり平均支給年額 (25 年度決算)	117 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

(注) 職員 1 人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績 (25 年度決算)」と同じ年度の 4 月 1 日現在の職員総数 (管理職員、教育職員等制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。) であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (26 年度決算)	支給職員 1 人当たり平均支給年額 (26 年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000 円 配偶者以外 6,500 円 (職員に配偶者がいない場合そのうち 1 人につき 11,000 円) 15 歳 ~ 22 歳の子については 5,000 円加算	同		1,576 千円	262,667 円
住居手当	借家・借間 最高 27,000 円 自宅 2,500 円	同		379 千円	63,167 円
通勤手当	普通交通機関等利用者 全額支給 自動車等使用者 2,000 円 ~ 24,500 円 (但し、徒歩で片道 2 km 以上であること)	同		198 千円	32,967 円
管理職手当	課長補佐 5,000 円 5 級 37,400 円 6 級 39,270 円	同	手当率 8% ~ 25%	472 千円	471,240 円

9 職員の福祉の状況

(1) 職員の健康

労働安全衛生法に基づき、職場における職員の安全と健康を保持するため、定期健康診断を実施している。

健康診断（年1回）

受診状況

年 度	受 診 者 数
26年度	230人

(2) 共済制度

職員の健康保険や年金制度については、福岡県市町村職員共済組合に加入し、共済組合が短期給付事業（医療関係）、長期給付事業（年金関係）、福祉事業（総合健診・貯金・貸付）を行っている。

(3) 公務災害補償

職員が公務中や通勤途中に災害を受けた場合は、地方公務員災害補償法に基づき、療養補償などを行う。

公務災害の状況（26年度実績）

公 務 災 害	2 件
通 勤 災 害	0 件

(4) 職員厚生会

会員の福利厚生に関する事業を実施、相互扶助及び親睦を図ることを目的として、会員の掛金及び負担金で運営している。

年 度	会員掛金総額	町助成額
26年度決算	4,024千円	4,025千円
27年度予算	3,748千円	3,748千円

事業内容

慶弔給付（福岡県市町村福祉協会に加入）

職員旅行、スポーツ大会